

令和5年度鳴門市部長実行宣言



消防本部	
廣瀬 高	消防総務課・ <u>予防課</u> ・警防課・消防署

視 点 （該当する視点を選択）	
☒ 最重要課題	☐ チャレンジ
☒ SDGs取組推進	
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
火災予防の推進	
現 状	課 題
【令和4年度実績】 ・住宅用火災警報器設置率 88% ・立入検査実施目標件数 641件 （内訳）防火対象物 519件 （市内にある防火対象物の19.8%） 危険物施設 122件 （市内にある危険物施設の51.3%）	鳴門市では、住宅用火災警報器の設置率が88%となっているが、設置後10年以上が経過している場合、電池切れや本体の故障が考えられるため、本体の交換や適切な維持管理の広報が重要となる。 立入検査については、危険物施設やホテルなどの特に重要な施設の立入検査率は50%を超える計画を立てて実施しているが、市内全施設の立入検査には時間と人員が必要である。
令和5年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
・住宅用火災警報器設置率 90%以上 ・立入検査実施目標件数 615件 （内訳）防火対象物 500件 （市内にある防火対象物の20.0%） 危険物施設 115件 （市内にある危険物施設の50.0%）	住宅用火災警報器の設置や適切な維持管理については、鳴門市のWebサイトでのパンフレット・広報ビデオの視聴継続、また、秋季火災予防運動行事では、小学校の金管バンドの協力を得て防火演奏を行い、年末には少年消防クラブによる夜警を実施、更には、消防分団や婦人防火クラブ等と連携し周知・啓発を図る。 防火対象物や危険物施設への立入検査については、予防課と消防署が連携し、違反對象物の是正強化に取り組み、立入検査の件数増加を図る。

令和 5 年度鳴門市部長実行宣言

消防本部	
廣瀬 高	消防総務課・予防課・ 警防課 ・消防署

視 点 （該当する視点を選択）	
☒ 最重要課題	☐ チャレンジ
宣 言 項 目 （※非公表の場合は項目名に「（非公表）」と記載）	
救命率の向上	
現 状	課 題
【令和 4 年度実績】 ・救急講習会 年間回数 6 0 回 - 参加者数 1, 1 2 8 名 ・心肺蘇生実施率 R 4 年 4 2. 9 %	救命率の向上には市民による応急手当の実施が不可欠であり、救急講習会による応急手当の普及啓発活動は重要である。 昨年までは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、救急講習会の参加者を制限するなど、参加者の減少が課題となっている。
令和 5 年度目標	目標達成及び課題解決に向けた具体的取組
・救急講習会 年間予定回数 8 0 回 - 参加者目標 1, 6 0 0 名 ・心肺蘇生実施率 目標 4 5 %	① 1 1 9 番入電時、通信員の口頭指導による応急手当実施率向上 ②市民による応急手当実施率増加のため救急講習会の開催 ③小・中学生向けの救命講習を行い「スクール救命士」を養成 ④短時間（2 0 分程度）で参加しやすい救急講習会の開催